

## ごあいさつ

日本電子キーボード音楽学会代表幹事  
松本歯科大学口腔解剖学講座教授  
金銅 英二

### 第14回大会に寄せて



第14回日本電子キーボード音楽学会全国大会を尚美ミュージックカレッジ専門学校で開催させていただくことになりました。会場をご提供いただきご協力ご尽力くださいました山本正壽校長先生。豊島良行先生はじめ学校関係者の皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

本会は、電子キーボードによる音楽の表現、教育、理論等の研究、および隣接諸科学に関連する学際的な研究協議を行い、もって音楽文化の発展に寄与することを目的として2004年に設立されましたが、近年の医学、科学、テクノロジーの著しい発展、進化によって、音楽と関連する隣接科学の分野も大きく変化してきております。第14回大会では、こうした状況を踏まえて、基調講演には、AI（人工知能）と音楽産業の未来～ヒトと機械が共に感動を作る世界を目指して～と題して、ヤマハ株式会社研究開発統括部第一研究開発部長であり東京藝術大学の非常勤講師としてもご活躍されている田邑元一様にご講演いただきます。

また、例年通り三つの研究関連（電子オルガン、ML、タテ線譜）については、「ML 関連」を、今回より正式に「電子ピアノ・ICT 関連」と改称し、今まさに教育現場で必要とされている電子楽器・ICTを活用した音楽教育の研究の促進と研究者の交流の場として発展させていきたいと考えております。三つの研究関連によるラウンドテーブルと研究発表（口頭9演題、ポスターセッション12演題）で活発な討論が展開されます。

さらに前回に引き続き、本会の将来を担っていただく若手会員の方々の発表機会の創出にも重きを置いております。大会前日にはプレイベントとして電子オルガン関連が中心となり「演奏表現研究会」が初めて開催されます。今後、演奏表現での研究発表の充実も期待したいと思います。

第14回大会が、皆様方の積極的なご参加によって、電子キーボード音楽に関する各分野の研究、そして皆様方の今後の活動のご発展に繋がるものになることを祈念し私の挨拶とさせていただきます。